

炎の美

茶の湯茶碗の制作を体験していただきました

彦根藩 13 代当主^{い いなおすけ}伊直弼が自作した「黒釉白縁茶碗」^{こくゆうしろぶちちやわん}を参考に、自分好みの茶の湯茶碗を制作し、本格的な^{のほりがま}登窯で焼成し、マイ茶碗を用いて茶会を開催するまでを体験していただきました。募集には、予想を上回る 45 人の参加があり、茶会では、マイ茶碗を用いて神妙に抹茶を^た点てる参加者の姿が印象的でした。

◆茶の湯茶碗の制作

【開催日時】 1 月 25 日 (日)
午前の部 10:00~12:00
午後の部 14:00~16:00

【開催場所】 アトリエ「葦」

【参加者数】 午前の部 22 人
午後の部 23 人 合計 45 人

◆茶の湯茶碗の焼成

素焼→釉掛→窯詰→焼成→窯出の
各工程を実施

・素焼・釉掛・窯詰

【開催日時】 2 月 27 日 (金)
9:00~18:00

【開催場所】 晒屋窯 (さらしやがま)

【見学者数】 7 人

・焼成

【開催日時】 2 月 28 日 (土)
6:00~翌日 3:00

【開催場所】 晒屋窯

【見学者数】 21 人

・窯出

【開催日時】 3 月 3 日 (火)
9:00~12:00

【開催場所】 晒屋窯

【見学者数】 21 人

◆茶の湯茶碗を用いた茶会

【開催日時】 3 月 8 日 (日)
10 時~ 11 時~
13 時~ 14 時~

【開催場所】 旧善利組辻番所と
足軽屋敷「旧磯島家住宅」

【参加者数】 39 人



茶の湯茶碗の制作

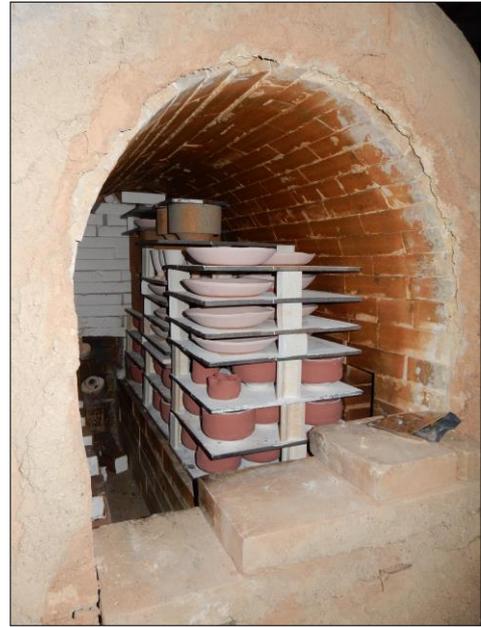


窯詰の作業





21時間連続焼成 午前2時、窯の温度が1200度を越える



窯に入れられた作品



炎に包まれる作品



窯出される作品



マイ茶碗を用いた茶会 まず先生がお点前の見本を披露